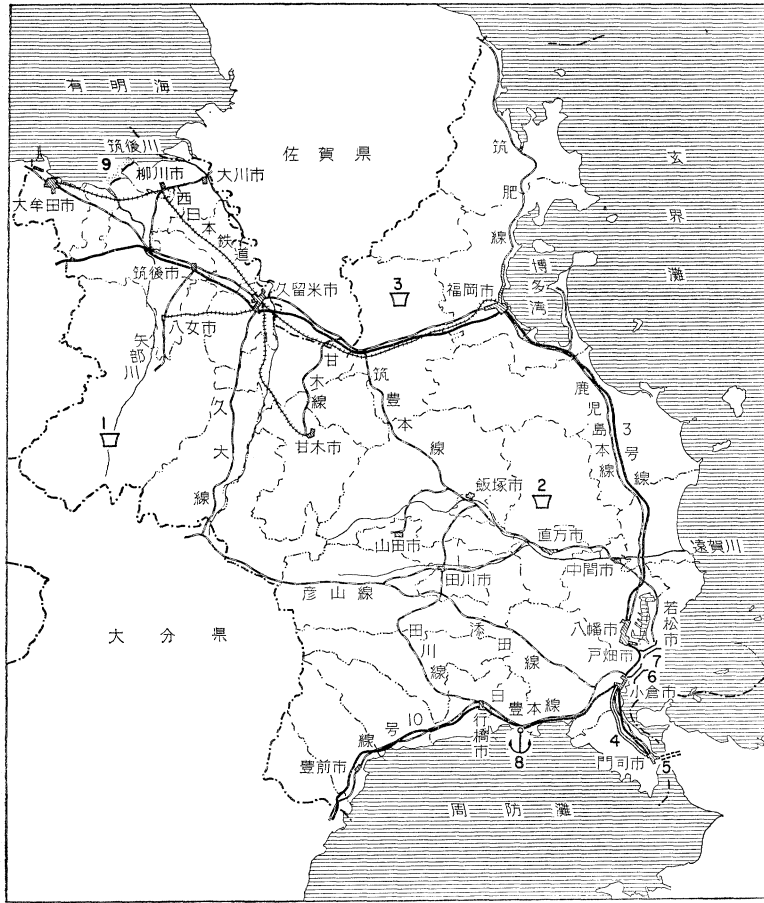


福 岡 県



福 岡 県 都 市 一 覧

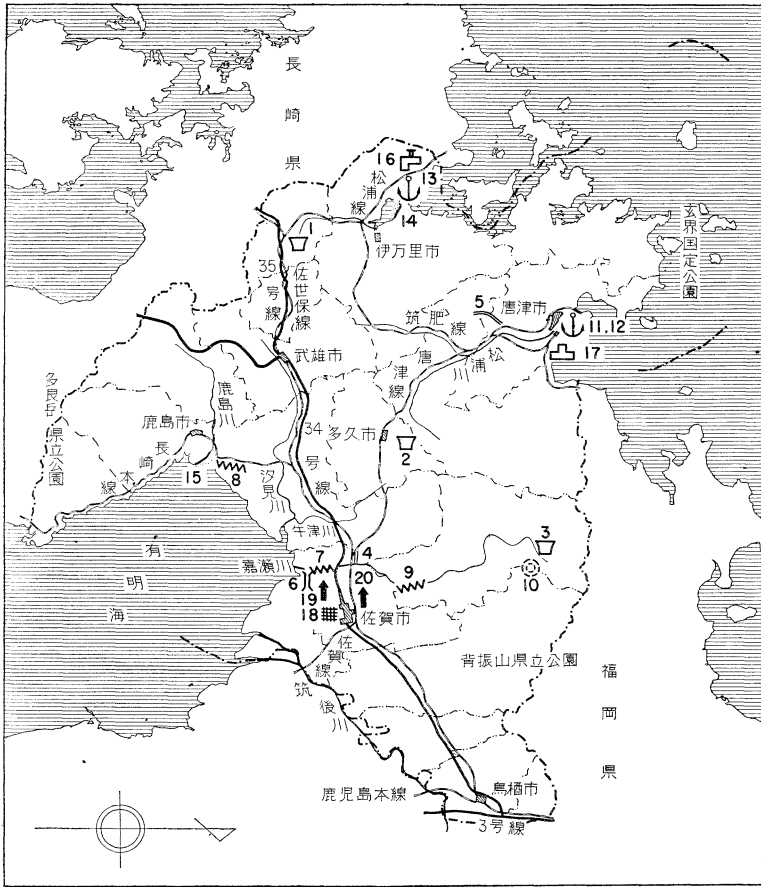
(昭和 36 年 10 月現在)

都 市 名	市 制 施 行 日	面 積 (km ²)	人 口
福 岡	明 22. 4. 1	240.03	647 122
久 留 米	明 22. 4. 1	89.40	155 041
門 司	明 32. 4. 1	65.95	152 081
小 倉	明 33. 4. 1	206.79	286 474
大 牟 田	大 3. 4. 1	56.47	106 975
八 幡 橋	大 6. 3. 1	110.53	332 163
大 牟 田	大 6. 3. 1	75.53	205 766
戸 畑	大 13. 9. 1	12.48	108 708
方 塚	昭 6. 1. 1	61.62	62 179
飯 塚	昭 7. 1. 20	17.03	60 431
川 崎	昭 18. 11. 3	54.44	95 911
川 崎	昭 27. 4. 1	36.95	48 691
木 下	昭 29. 4. 1	166.71	45 988
後 田	昭 29. 4. 1	42.81	40 479
山 田	昭 29. 4. 1	21.75	30 140
大 行	昭 29. 4. 1	39.20	41 195
橋 本	昭 29. 4. 1	33.49	50 351
前 橋	昭 29. 10. 10	68.59	47 188
豊 前	昭 30. 4. 10	108.90	34 818
中 間	昭 33. 11. 1	15.75	42 418

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	日向神ダム工事
	2	八木山ダム工事
	3	南畑ダム工事
道路工事	4	北九州道路工事
	5	関門道路トンネル工事
橋梁工事	6	新港橋工事
	7	若戸大橋架設工事
港湾工事	8	港湾造成事業
海岸保全	9	海岸災害助成事業

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
福岡県八女郡黒木町大湖	同 左	450	多目的ダム 重力式 堤高 79.5 m 堤長 146.0 m 堤体積 240 000 m ³	福岡県	鹿島建設	— 1960	
福岡県鞍手郡若宮町力丸	同 左	147	重力式 堤高 51.5 m 堤長 160.0 m 堤体積 84 800 m ³ 断層処理	〃	未定	— 1964	
福岡県筑紫郡那珂川町		526	重力式 堤高 63.2 m 堤長 254.4 m 堤体積 206 000 m ³ 多目的ダム	〃	〃	— 1963	
門司市大里一小倉市	北九州道路工事事務所 門司市大字大里字戸の上	127	総延長 5 115 m (道路 4 248 m, トンネル 2 カ所 535 m, 橋梁 16 カ所 332 m)	道路公団		1958.12.27 1961. 3.31	
山口県下関市～福岡県門司市	下関市旧壇之浦	800	総延長 3 461.4 m 下関陸上部 1 370.4 m 海底部 780.0 m 門司陸上部 1 311.0 m 布効巾員 車道 7.5 m 人道 3.8 m	〃		1939～ 1958. 3	
小倉市東港町地内 (鹿児島本線 戸畑駅)	199 号線工事事務所 戸畑市小笠町 2 丁目	10	橋梁整備事業 斜H杭・組杭 延長 81.14 m 巾員 12.0 m	福岡県	銭高組	— 1962	
若松市～戸畑市	若戸橋工事事務所 若松市稲荷町 1	510	総延長 2 086 m 橋梁部 680 m 巾員 9.5 m 車道巾員 9.0 歩道巾員 2×3.0 m 2 ヒンジ式吊橋	道路公団	日立造船 横河橋梁 熊谷組, 外	1958～1962	
京都郡荊田町 (福岡県)	荊田町埋立地 荊田工務所	100	荊田臨海工業地帯造成工事	福岡県	大手業者	竣工1965年	
柳川市橋本開 (福岡県)	柳川市隅町 柳川土木事務所	52	3面コンクリート張りの海岸堤防	〃	柳川地区業者	〃 1963年	

佐賀県



佐賀県の将来計画

国土保全について本県は、崩壊性の花崗岩よりなる北東部背振・天山山系と5万haの沖積層の佐賀平野、干満差の激しい有明海、梅雨台風による集中豪雨などの現況よりして、多目的ダムの建設などにより災害を防止するとともに、佐賀東部内陸工業地帯、唐津、伊万里の臨海工業地帯の用水の確保に重点をおいている。また、高汐の被害防止のため、有明海岸堤防の補強を推進している。

交通については、本県は北九州と長崎佐世保両工業地帯の中間に位置し、交通量は輸送機関の発達につれて年々

急増の一途をたどりつつある。本県中央を貫通する一級国道34号線は一応改修を完了したが、佐賀市・武雄市においては引続きバイパス計画が推進されつつある。

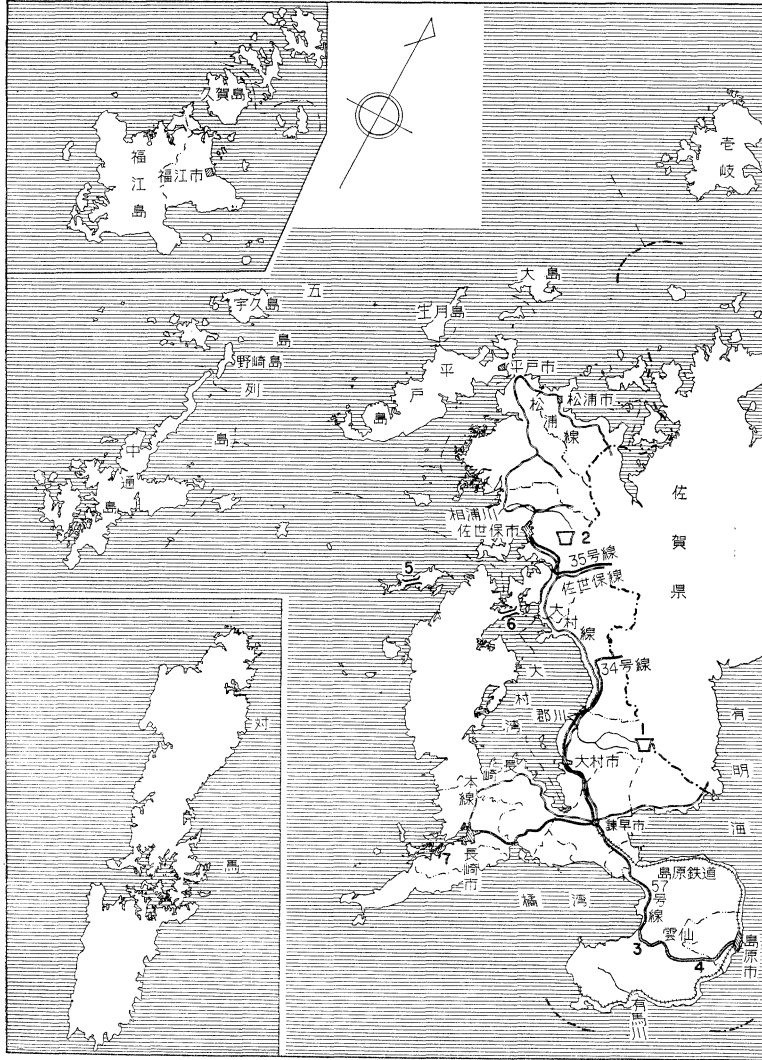
また、九州開発の重点事業として推進中の九州自動車道の構想とともに、長崎・佐賀両県を横断しこれに連結する西九州自動車道の構想も着々すすめられつつある。また、長崎県福島と本県伊万里市とを海をまたいで連結する福島橋も近く実現の運びとなるであろうと思われる。

工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	河川総合開発事業 (有田ダム)
	2	岸川防災ダム
	3	国営嘉瀬川農業水利 事業(北山ダム)
道路工事	4	久保田立体交差
	5	舗装新設工事
橋梁工事	6	本庄橋新設工事
河川工事	7	中小河川改修事業 (嘉瀬川)
	8	小規模河川改修事業 (廻里江川)
	9	国営嘉瀬川農業水利 事業
観光施設 および 観光計画	10	北山ダム国民宿舎
港湾工事	11	唐津港特別整備
	12	唐津港改修
	13	伊万里港改修
海岸保全	14	伊万里海岸保全
	15	鹿島港 "
上水道および 工業用水	16	伊万里港久原工業用 地
工業用地 計画および 住宅	17	唐津港工業用地
都市計画	18	佐賀駅～中の館線街 路改良
公園緑地	19	城内公園
	20	神野公園

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣 功 予 定 年 月	備 考
西松浦郡有田町白川 (国鉄 上有田駅)	—	18.0	重力式コンクリートダム	佐賀県	松 尾 組	— 1961. 5. 31	
多久市北多久町大字多久 原	多久市北多久町小待	24.6	〃	〃	池 田 組	— 1962. 3. 31	
佐賀郡富士村藤瀬		183.4	重力式越流型コンクリート直線 堰堤	農 林 省	大 成 建 設	— 1957. 3. 27	
佐賀郡久保田村 (国鉄 久保田駅)	佐賀土木事務所 佐賀市赤松町10	12.1	盛土, 砂杭, 基礎工	佐賀県	松 尾 組	1960. 11. 1 1961. 9. 30	
唐津市養母田〜千々賀 (福岡 有田線)	唐津土木事務所 唐津市城内西1 324の2	4.0	セメントコンクリート舗装	佐賀県	平 野 建 設	1961. 8. 2 1962. 3. 31	
佐賀市西与賀町 嘉瀬	佐賀土木事務所 佐賀市赤松町10	10.2	斜杭 (鉄筋コンクリート) 基礎	佐賀県	中野組, 大同コ ンクリート	1960. 4. 1 1964. 3. 31	
佐賀郡久保田村徳万	佐賀市八戸町 65	28	捷 水 路	佐賀県	地 元 業 者 職 工	— 1963. 3. 31	
杵島郡有明村戸ケ里	武 雄 市	4	防 潮 水 門	佐賀県		— 1963. 3. 31	
佐賀郡大和町惣座地先	佐賀市上多布施町	34.6	コンクリート堰堤 土砂吐 鋼装油圧巻 ローラゲート 洪水吐 〃 自動翻倒ゲート	農 林 省	大 成 建 設	— 1961. 3. 31	
神崎郡三瀬村中谷	同 左	2.48	鉄筋コンクリート造 2階建 延べ 255.6 坪	佐賀県	松 尾 組	— 1962. 3. 31	
唐津市西唐津 (国鉄 西唐津)	唐津市西唐津海岸通り	32.3	-7.5 m 岸壁, 浚渫, 防波堤	国	直轄, 阪神築港	— 1965	
〃 (〃)	—	137.6	臨港道路, 荷役機械	佐賀県	地 元 業 者	— 1965	
伊万里市	—	36.0	-3.0 m 物揚場, 浚渫, 岸壁, 浮棧橋	佐賀県	水 野 組 地 元 業 者	— 1965	
伊万里市瀬戸	—	10.3	海 岸 堤 防 補 強	佐賀県	地 元 業 者	— 1965	
鹿島市 (国鉄 鹿島駅)	—	8.1	海 岸 堤 防 補 強	佐賀県	地 元 業 者	— 1965	
伊万里市久原	伊万里市松島町	11.7	埋 立 45 000 坪	佐賀県		— 1965	
唐津市西唐津	唐津市西唐津	41.4	埋 立 80 000 坪	佐賀県		— 1965	
佐賀市駅通り	佐賀市赤松町	23.8	物件移転, 街路, 橋梁	佐賀県	直営および地元 業者	— 1967	
佐賀市 (国鉄 佐賀駅)	佐賀市赤松町	12.0	湾の浚渫, 埋立, 遊歩道路	佐賀県	地 元 業 者	1961~1966	
〃 (〃)	〃	7.3	水蓮池, 植栽, 児童遊戯場	佐賀市	〃	1959~1964	

長 崎 県

長
崎
県



長 崎 県 都 市 一 覧

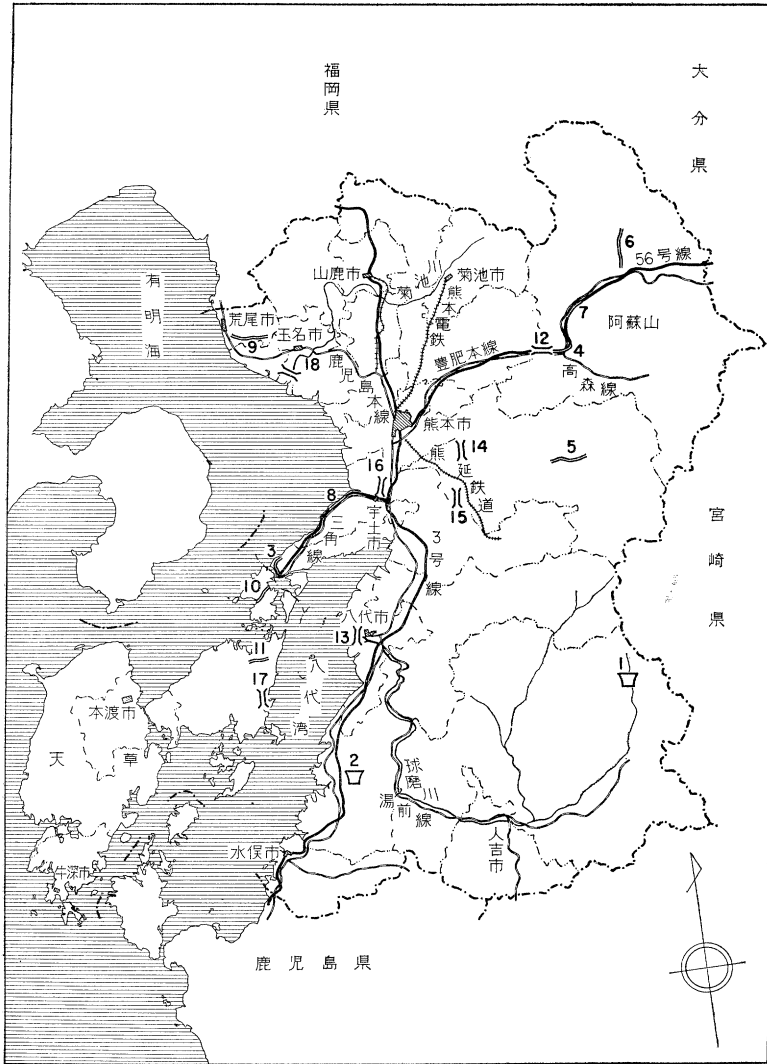
(昭和 36 年 10 月現在)

都 市 名	市 制 施 行 日	面 積 (km ²)	人 口
長 崎	明 22. 4. 1	121.32	344 153
佐 世 保	明 35. 4. 1	249.00	262 484
島 原	昭 15. 4. 1	58.56	45 205
諫 早	昭 15. 9. 1	146.78	64 506
大 村	昭 17. 2. 11	122.89	59 498
福 江	昭 29. 4. 1	157.64	38 860
平 戸	昭 30. 1. 1	171.14	40 879
松 浦	昭 30. 3. 31	94.42	44 057

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	郡川総合開発 壺瀬ダム建設工事
	2	川谷貯水池
道路工事	3	雲仙道路
	4	島原有料道路
橋梁工事	5	中戸橋架換工事 (主要地方道 崎戸大島線)
	6	西海橋 (2級国道 長崎佐世保線)
埋立工事	7	長崎港 小ヶ倉地区埋立事業
	8	大村火力発電所増設 工事

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
国鉄 大村駅 バス、久保停留所 佐世保市	大村市中岳郷	835	多目的ダム (治水, かんがい, 上水道) 多目的ダム (洪水調節, 上水道)	長崎県 佐世保市	熊谷組	1959.12~ 1962.3 — 1956.3	
南高来郡小浜町~雲仙 島原市~高来郡小浜町	雲仙道路管理事務所 南高来郡小浜町 島原道路管理事務所 南高来郡有家町	27.5 43.5	観光道路 延長 12074 m 巾員 6.0 m 延長 15221.6 m 巾員 7.0 m	道路公団 *		1956.11~ 1957.5 1959~ 1960.8	
西彼杵郡崎戸町 大島町界 (佐世保市, 舟) 佐世保市針尾~西彼杵郡 大串村	長崎土木事務所 長崎市大橋町209 西海橋管理事務所 佐世保市針尾	81.780 55.283	PC連続桁 (フレッシュナー方式) 無ヒンジ プレースド アーチ 延長 316.26 m 中央径間 244.00 m	長崎県 道路公団	上部 九州綱弦コンク リート 横河橋梁	1958.10~ 1961.2 1952~ 1955.10.18	
長崎市小ヶ倉町 (長崎市, バス)	長崎港務事務所 長崎市羽衣町1	362	岸壁, 物揚場を築造。 埋立にともなう土砂は山を切り ここを園地として利用する。	長崎県	若松築港 水野組 大阪ブルーザ	1960.4~ 1963.3	
大村市		850	66000 kW が 156000 kW に ふえ, 石炭使用量も 30 万 t か ら 90 万 t に増加	九州電力		1961~1964	

熊本県



工事区分	番号	工事件名
ダム工事	1	市房ダム
	2	瀬戸石ダム
道路工事	3	島原宇土線
	4	熊本大分線
	5	熊本浜線
	6	別府一の宮線
	7	熊本大分線
	8	島原宇土線
	9	熊本佐賀線
	10	本渡三角線
	11	楠甫松島線
	橋梁工事	12
13		前川橋
14		箸町橋
15		乙女橋
16		太郎兵衛橋
17		姫浦橋
18		大浜橋

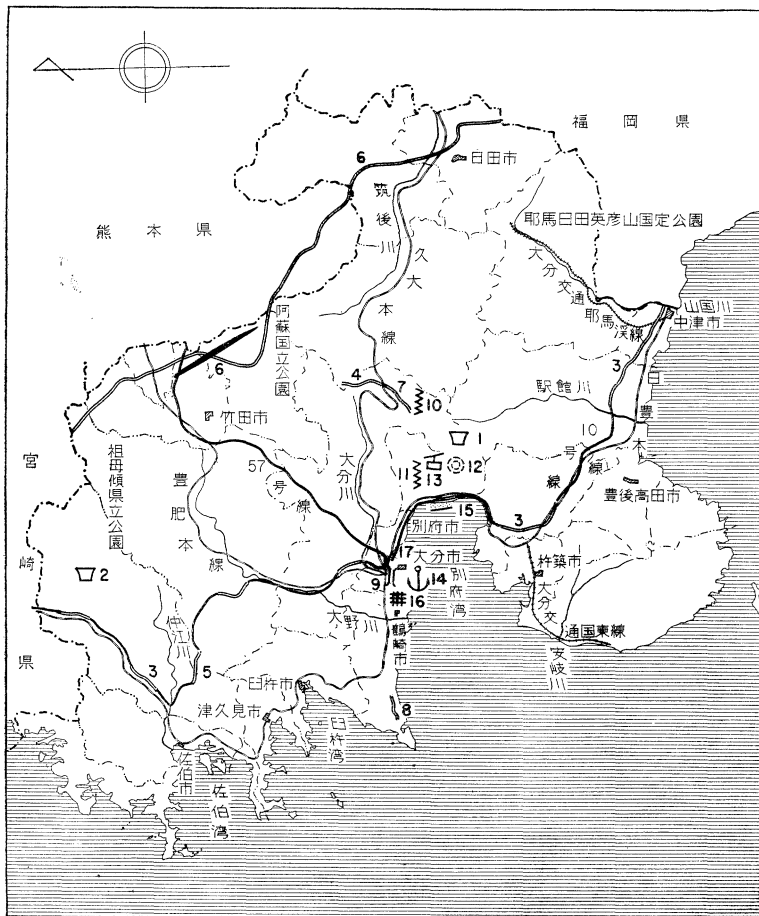
熊本県都市一覧

(昭和36年10月現在)

都市名	市制施行日	面積 (km ²)	人口
熊本	明 22. 4. 1	144.98	373 922
八代	昭 15. 9. 1	129.76	100 566
人吉	昭 17. 2. 11	210.77	47 259
荒尾	昭 17. 4. 1	57.79	64 394
水俣	昭 24. 4. 1	163.70	48 342
玉名	昭 29. 4. 1	88.16	47 736
山鹿	昭 29. 4. 1	87.44	36 244
本渡	昭 29. 4. 1	143.88	41 893
牛深	昭 29. 7. 1	88.80	34 700
菊池	昭 33. 8. 1	183.06	34 363
宇土	昭 33. 10. 1	74.26	33 057

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
球磨郡水上村	市房ダム工事事務所 球磨郡湯前町上里		重力ダム 高さ 78.0 m 堤 長 270.0 m 堤体積 228 400 m ³ 目 的：かんがい・発電	建 設 省	西 松 建 設	— 1961. 3	
芦北郡芦北町			重力ダム 高さ 26.5 m 堤 長 137.6 m 堤体積 21 812 m ³	電 源 開 発	西 松 建 設	— 1958. 9	
宇土郡三角町		6.1	道路改良 L=2 500 m W=7.5 m				
菊池郡瀬田		15.0	道路改良 L=4 300 m W=7.5 m				
上益城郡矢部町		9.5	道路改良 L=1 300 m W=5.5 m				
阿蘇郡一の宮町		7.5	道路改良 L=7 000 m W=5.5 m				
阿蘇郡岩倉・赤水		4.3	舗装新設 L=4 000 m W=7.5 m				
宇 土 市		4.0	舗装新設 L=3 800 m W=7.5 m				
荒尾市増水, 荒尾町, 桜山町		19.0	舗装新設 L=5 300 m および舗修 W=7.5 m				
天草郡大矢野町		6.0	道路改良 L=2 000 m W=5.5 m				
天草郡松島町		4.0	道路改良 L=1 500 m W=5.5 m				
菊池郡瀬田		2.3	L=45.0 m W=8.0 m 橋台 2, 合成箱桁 1 連				
八 代 市		4.8	L=223.8 m W=13.5 m 37年度 潜函 3 基				
上益城郡嘉島村		1.2	L=254.9 m W=6.0 m 37年度 PC上部工 1 部				
上益城郡甲佐町		1.2	L=280 m W=6.0 m 37年度 橋脚 4				
宇 土 市		1.65	L=99.0 m W=6.0 m 37年度 下部工 (橋台2, 橋脚 2)				
天草郡姫戸村		1.1	L=36.6 m W=6.0 m 橋台 2, 橋脚 2, PC桁 3 連				
玉名市大浜町		1.0	L=301.5 m W=4.5 m RC桁補強 20 連 橋脚補強 29 基				

大 分 県



大分県都市一覽

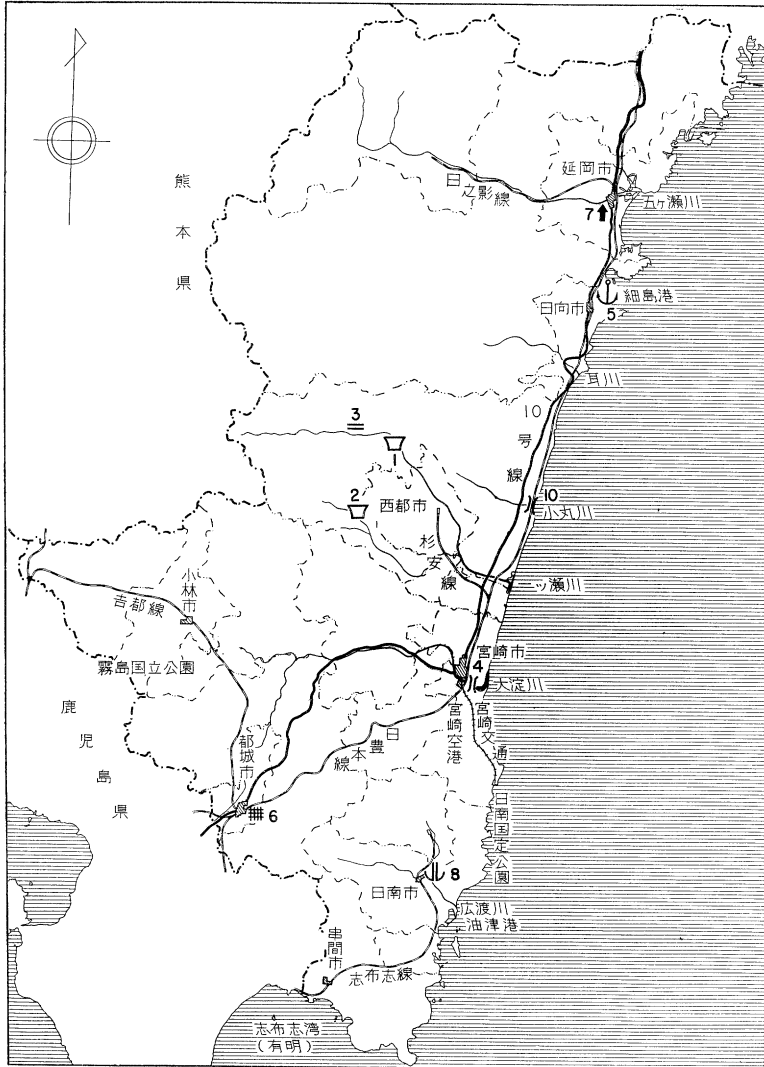
(昭和36年10月現在)

都 市 名	市制施行日	面 積 (km ²)	人 口
大 分	明 44. 4. 1	64.23	124 807
別 府	大 13. 4. 1	124.87	107 734
中 津	昭 4. 4. 20	54.00	61 667
日 田	昭 15. 12. 11	269.72	68 437
佐 伯	昭 16. 4. 29	196.92	51 369
白 杵	昭 25. 4. 1	151.81	45 421
津 久 見	昭 26. 4. 1	77.69	37 164
鶴 崎	昭 29. 3. 31	54.19	27 775
竹 田	昭 29. 3. 31	200.45	34 911
豊 後 高 田	昭 29. 5. 31	121.14	28 280
杵 築	昭 30. 4. 1	90.82	27 753

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	戦川通常砂防工事
	2	北川発電所
道路工事	3	一級国道 10 号線改築工事
	4	九州横断道路
	5	一級国道 10 号線中ノ谷トンネル工事
	6	九州中部産業開発道路工事
	7	二級国道久留米別府線改築工事
	8	二級国道大分佐伯線改良工事
橋梁工事	9	滝尾橋架換工事
河川工事	10	特別損失被害防止対策工事
	11	境川通常砂防工事
観光施設および観光計画	12	観光リフト
	13	別府ロープウェイ
港湾工事	14	大分港港湾整備事業および臨海工業地帯土地造成事業
海岸保全	15	別府海岸高砂対策事業
都市計画	16	大分鶴崎総合計画決定
その他	17	大分県庁舎建設工事

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
日豊線 別府駅	四日市土木事務所 安心院駐在所	4.4	高さ 37 m 長さ 48 m 見方砂量 1630 000 m ³ 全国的にみても有数のダム	大分県	未宗組	1958. 3	
ダム 三重駅, バス 発電所 北川駅, バス	南海部郡 宇目村小の市	303	ダム アーチ式 高さ 82 m 頂長 188 m 体積 62 000 m ³		村上建設, 梅林 建設, 後藤組	1961. 1~ 1962. 5	
自 福岡県界より 至 宮崎県界まで	中津工事事務所 大分 “ 佐伯 “	(663) 4.701	L=126 152 m W=6.5~9.0 m	建設省 中津, 大分 佐伯工事事 務所	大成建設, 日本 舗道, 鹿島建設 日本道路, 村上 建設	1961. 4~ 1965. 3	
自 大分県湯布院町 至 熊本県境	日本道路公団 (別府 阿蘇) 道路第 2 期工 事事務所	930	L=30 781 m W=6.5 m	道路公団	未着工	1962. 3~ 1964. 3	
自 大分県大野郡野津町 至 南海部郡弥生町	日本道路公団 中谷工事事務所 佐伯市仲町	745	L=3 895 m W=6.5 m (トンネル L=1 053 m)	“	村上建設, 梅林 土木	1960. 9~ 1963. 9	
自 宮崎県尾平より 至 大分県日田市をへて 福岡県界まで	大分県竹田土木事務 所, 日田土木事務所	(27) 3 001	L=116 110 m W=5.0 m	大分県	溝口組, 拓成土 木	1961. 4~ 1970. 3	
大分県湯布院町より湯布 院町水分峠まで (別府駅 バス)	大分県大分土木事務 所湯布院出張所	(125) 377	L=12 240 m W=6.0~6.5 m	“	自衛隊, 日本橋 梁, 日本道路	1961. 4~ 1964. 3	
大分県津久見市日見 (日 豊線 日代駅, 徒歩)	大分県臼杵土木事務 所津久見出張所	(112) 139	L=2 500 m W=5.5 m	“	後藤組, 古手川 組, 津久見建設	1961. 4~ 1963. 3	
大分臼杵線, 大分市坊ヶ 小路 (大分駅, バス)	大分県大分土木事務 所	195	L=300 m 橋台 RC 控壁 上部 PC 工型式	“	梅林建設	1961. 4~ 1964. 3	
久大線 湯布院駅 日豊線 別府駅	大分県大分土木事務 所湯布院土木出張所	560	山内式ブロック 凸型連接ブロック	“	佐藤組, 溝口組 佐伯建設, 工藤 建設	1960. 8~ 1965. 3	
別府駅	別府土木事務所砂防 出張所	20	本河川は大分県下では砂防工事 の草分けで, 昭和 7 年より毎年 施工されている。	“	直営, 一部請負	1932~1961	
別府市ラクテンチ 遊園地内	ラクテンチ内	47.3	延長 654 m 1 人乗 150 搬		大和索道	1962. 3~ 1962.10	
別府市鶴見岳	別府市大字南立石字 寒原	400	索道斜距離 1 816 m 高低差 792 m 101 人乗		日本ケーブル	1962.10.15	
大分市, 鶴崎市	大分市, 鶴崎市	整備事業 305 土地造成 事業 2.459	恵まれた立地条件にともなう工 場誘致およびそれにともない港 湾整備	“	若松築港, 三井 不動産, 佐伯建 設, 阪神築港	1958~1970	
別府市亀川	別府市	56	延長 9 km におよぶ海岸堤防に て別府海岸を一新する	“	安部組, 敷島組	1958~1970	
大分市津留荻原, 鶴崎市	大分市荻原 (区画整理事務所)	約 2 400	街路事業, 公園事業, 区画整理 事業	大分県 大分市	福岡土地区画整 理協会, 外	1962. 4. 1 1980. 3. 31	
大分駅, バス	大分市荷揚町	105	地下 2 階, 地上 9 階 床面積 30 000 m ² 構造 事務棟 SRC 造地下 1 階 地上 9 階 基礎 H 型鋼杭 311 本 L=25.5 m	大分県	梅林建設, 富士 通信機製造, 日 本設備工業, 東 洋オーチスエレ ベーター	1960.12~ 1962. 9	

宮 崎 県



宮 崎 県 都 市 一 覧

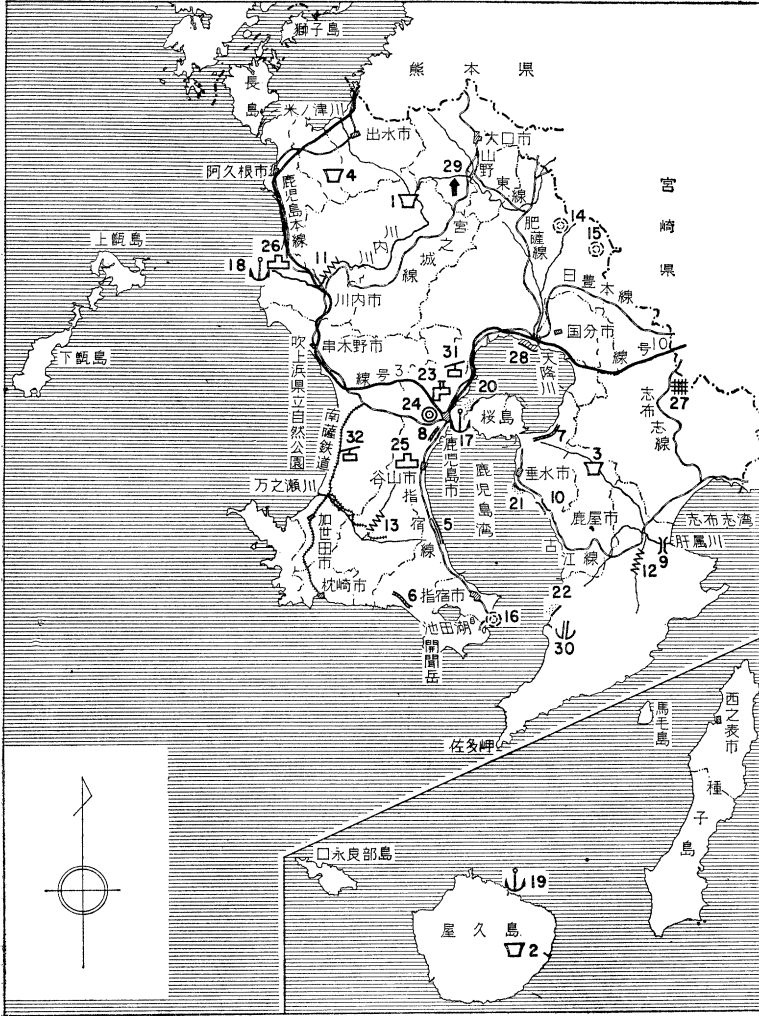
(昭和 36 年 10 月現在)

都 市 名	市 制 施 行 日	面 積 (km ²)	人 口
宮 崎	大 13. 4. 1	251.58	158 328
都 城	大 13. 4. 1	100.61	92 230
延 岡	昭 8. 2. 11	287.27	122 527
日 南	昭 25. 1. 1	294.97	61 974
小 林	昭 25. 4. 1	230.86	43 894
日 向	昭 26. 4. 1	116.18	40 685
串 間	昭 29. 11. 3	294.91	41 143
西 都	昭 33. 11. 1	210.13	37 661

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	一ツ瀬ダム
	2	立花ダム
道路工事	3	二級国道付替工事
橋梁工事	4	都市計画街路事業 橋梁架設工事
	10	小丸川鉄道橋架換工事
港湾工事	5	1万t岸壁工事
都市計画	6	宮浦原宅地造成土地 区画整理
公園緑地	7	西階運動公園事業
土地改良	8	県営一般 灌漑排水工事

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
児湯郡東米良村瓢たん湖 (国鉄自動車湯之前妻線)	西都市大字南方字杉 安 一ツ瀬水力発電建設 所	2 000	ロームアーチ式コンクリートダ ム 堤 高 128 m 堤 長 423.5 m	九州電力	鹿 島 組 間 組	1960.11~ 1963.10	
児湯郡三財村立花(宮交 バス本庄線石ノ田下車)	児湯郡三財村大字下 三財 宮崎県企業局建設部	133	重力式コンクリートダム	宮 崎 県	熊 谷 組	1960.12~ 1963. 3	
児湯郡 東米良村 西米良村 (国鉄自動車湯之前妻線)	児湯郡西米良村越ノ 尾 一ツ瀬道路改良工事 監督事務所	259	2級国道付替工事	九州電力	熊 谷 組 西 松 組 鹿 島 組	1960~ 1962.10	
宮崎市昭和町 (市内バス 一ツ葉線)	宮崎市役所都市計画 課	14.25	連続桁橋	宮 崎 市	西 条 組	1961~ 1963. 3	
日豊本線 川南~高鍋		11.67	鋼桁をPC桁に更换 橋 長 805 m	国 鉄	ビーエス コンク リート	1959. 1~ 1960.12	
日向市細島 (国鉄細島線 細島駅)	細島臨海工業地区開 発事務所 日向市日知屋	25	サンドドレーン工法掘杭工	宮 崎 県	水 野 組	1960~ 1962. 3	
都城市葛蒲原 (宮交バス)	都城市役所土木課 都城市姫城町	193.50		都 城 市	直 営	1955~ 1962. 3	
延岡市大貫町 (宮交バス)	西階開発事務所 延岡市大貫町	591.35	宅地開発, 総合グラウンド	延 岡 市	直 営	1961~ 1965. 3	
日南市東郷 (宮交バス)	日南耕地出張所 日南市鉄肥	166.80		宮 崎 県	坂 下 組	1960~ 1966. 3	

鹿 児 島 県



鹿 児 島 県 の 将 来 計 画 ・ 抱 負

本県民所得は全国平均の61%と低位にあり、これが向上を計り、経済の地方格差を縮めて行くため一次産業の改善と近代化、二次、三次産業の進展を強力に押し進める必要があるが、これら産業の基盤を拡充強化するには、まず陸海空にわたる輸送力の増強を計らなければならない。そのため、

1. 国土開発縦貫自動車道建設法にもとづく九州高速自動車道の建設促進
2. 一級国道はもちろん、観光発展上指宿～鹿児島～霧島～桜島間 二級国道の整備を早める。
3. 観光と産業、特に工業開発のため屋久島その他の道路整備、霧島地区内、指宿地区内の池田湖周辺の有料道路の

建設

4. 台湾、東南アジアなど国際線乗入れを期し、鹿児島市内鴨池空港の拡張整備
 5. 同述諸国との貿易進展を考えた鹿児島港の拡張と隣接谷山工業港の建設ならびに付近工業用地の造成、工業化促進
 6. 川内河口港の建設と周辺の工業化
 7. 屋久島工業開発の進展にともなう宮之浦港湾の大型化整備計画
- 次に国土保全と災害防除を計るため
1. 洪水調節と発電をかねた川内川鶴田ダムの完成を促進する
- など現在より今後の計画は大きく、これらを強く推進して行く方針である。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	鶴田ダム
	2	安房川第一発電所
	3	高隈貯水ダム
	4	高尾野防災ダム
道路工事	5	二級国道 枕崎～指宿～鹿児島線 舗装新設工事
鉄道工事	6	山川、枕崎間鉄道建設
	7	国分、古江間鉄道建設
	8	鹿児島地区改良
橋梁工事	9	第二有明橋架換工事
	10	馬形橋架換工事
河川工事	11	直轄、川内川改修工事
	12	直轄、肝付川改修工事
	13	中小河川 広瀬川改修工事
観光施設および観光計画	14	霧島有料道路新設工事
	15	霧島国立公園内高千穂河原園地整備
	16	指宿観光ホテル、ヘルスセンター新設工事
港湾工事	17	鹿児島港改修工事
	18	川内港
	19	宮之浦港
海岸保全	20	桜島海岸高砂対策事業
	21	垂水海岸
	22	大根占海岸
上水道および工業用水	23	鹿児島市上水道第7回拡張工事
下水道	24	鹿児島市公共下水道設置
工業用地計画および住宅	25	谷山臨海工業用地
	26	川内臨海工業用地
都市計画	27	末吉都市計画、内門土地区画整理事業
埋立工事	28	第二国分 代行 千拓工事
公園緑地	29	曾木の滝公園整備工事
土地改良	30	西根占かんがい排水工事
特殊鉄道	31	磯公園索道運輸建設工事
	32	吹上浜公園ロープウェイ工事
宅地造成	33	紫原住宅団地開発事業

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工者	施工年月 竣工予定月	備考
国鉄宮之城鶴田駅、自動車	建設省鶴田ダム工事事務所 薩摩郡鶴田村	1200	洪水調節量 700 m ³ /sec 発生電力 120 000 kW 重力式コンクリートダム 高 117.5 m 長 450 m	建設省	西松建設外	1959~1966	
屋久島航路安房下船(気動車)	安房第一発電所工事事務所 鹿毛郡屋久町安房	210	発生電力 23 000 kW 中央越流型、ドーム式アーチダム H=53.5 m l=132	屋久島電工	大豊建設	1959~1962	発電(11 000 kW)所、一期工事S35年完了
鹿屋市よりバス	農林省笠原農業水利事務所、鹿屋市	136	笠原台地 6 000 町歩の円 4 800 町歩の かんがい、重力式コンクリートダム H=49 m l=123 m、貯水量 1 393 万 m ³	農林省	—	計画 1959~ 実際 1962 1963	現在実施設計の段階
鹿児島本線 高尾野駅 自動車	出水耕地事務所 出水市	40	災害防除(洪水調節)、灌漑 H=31 m l=95 m、調水量 80 万 m ³	鹿児島県	—	1961~1965	
指宿郡喜入町中名(指宿線 中名駅)	指宿土木事務所 指宿市十二町	1.7	本県地質の 6 割以上を占める火山灰の中 白色火山灰(いわゆるシラス)とセメント とを混合してソイルセメント路盤を設 け、この上に表層 5 cm 粗粒式アスファ ルトコンクリートを敷設する骨材の少な い本県内のありあまるシラスを用い経済 的な舗装を実施しようとするものでシラ スは舗装要綱の粒度曲線の範囲に入らな いがセメント 10% で規定の強度が得ら れるので、今後の経過を調査	鹿児島県	日本舗道	1961. 6. 30 1961. 11. 28	37年度も36年度に引続き実施の予定
山川、枕崎線 穎性駅	鹿児島鉄道管理局 鹿児島市武町	180	鉄道新設延長	国鉄下関工事局	—	1953. 10~ 1962. 12	山川~穎性間 S35年開通運転
古江、国分線 海潟駅	—	310	—	—	—	1953. 10~ 1966. 3	古江~海潟間 S36.5 開通運転
鹿児島本線 西鹿児島駅	鹿児島鉄道管理局 鹿児島市武町	86	操車場の設置とそれともなう国鉄指 宿線の改良	—	—	1959. 5~ 1964. 3	
肝付川河口 高山町波見(高山町、バス)	鹿屋土木事務所 鹿屋市打馬町	9.2	L=300 m W=60 m P.Cコンクリート桁 30 m 10 連 鹿児島県で一番長い橋	鹿児島県	九州鋼弦下部 小牧組	1959~1961	
垂水市新城市(垂水市、バス)	—	0.96	L=23.0 m W=8 m 合成鋼桁橋、斜角 21°	—	栗本鉄工下部 並木組	1961. 9~ 1962. 3	
鹿児島本線 川内駅	川内川工事事務所 川内市大小路町	588	鹿児島、宮崎両県にわたり建設省にて 継続施行中	建設省	—	1931~	
古江線 高山駅	肝付川工事事務所 肝付郡高山町新富	230	本川、支川の串良川、高山川、始良川 等直轄継続施行中	—	—	1937~	
私鉄知覧線 川辺駅	加世田土木事務所 川辺町川辺町平山	30	県下の主要河川で、本川の中流部、支 流を合わせ継続実施中	鹿児島県	構造物を除き 直営	1946~	
霧島国立公園内(日豊本線 霧島駅) 吉都線 小林駅	霧島有料道路管理事務所 始良郡牧園町高千穂	20	既設の宮崎県、鹿児島県の北南霧島有 料道路間約 6 000 m を市員 6.0 m にて 新設し連絡を計った	日本道路公団	小坂下組	1960. 4~ 1961. 10	
日豊本線 霧島神宮駅、バス	始良郡牧園町高千穂	0.87	駐車場、水道施設、休憩所、休憩舎等 設置	鹿児島県	山本組 山口工務店	1959~ 1961. 3	
指宿線 指宿駅、バス	指宿市十二町	約 3	内部に 27 の浴槽があるジャングル浴 場あり、バナナ、パイナップル等数10種類 の熱帯植物が植栽される	指宿観光ホテル	川岸工業 二宮建設	1958. 4~ 1959. 2	
現在の鹿児島本港の隣接 地区	第4港建設鹿児島工事事務所、 鹿児島市洲崎町	544	本港の外新港を貿易港、南港を貨物取 扱、工事港として整備する	運輸省直轄 鹿児島県	—	1961~1970	工費は10カ年計画
川内駅、自動車	川内土木事務所 川内港工事詰所 川内市京泊町	230	川内川河口工業港建設、工業用地造成 と相まって、工業をおこす計画	鹿児島県	植村組	1961~1970	
鹿児島港より鹿児島商船 九州商船	屋久島土木事務所 屋久町安房	163	屋久島工業開発の目的で 1 000 t 級船 舶の接岸施設および泊地を建設する	—	—	1961~1970	将来は 10 000 t 級接岸
鹿児島港、渡船	鹿児島土木事務所 鹿児島市長田町	20	西校島沿岸の落を高沙より防ぎよ するコンクリート傾斜堤	—	鹿児島建設外	1961~	
鹿児島市、渡船垂水着、 バス	鹿屋土木事務所垂水工 事詰所、垂水市田中	14	垂水、海浜地区にゆる落を高沙より 守る	—	林組外	1959~	
大根占	大根占土木事務所 肝付郡大根占町塩屋	6	大根占町中心地海浜しゅ落を高沙より 守る六脚ブロック	—	第一建設外	1960~	
市内大迫町甲突川より取水、 市内全域給水	鹿児島水道局 鹿児島市南林寺町	10	1 月取水量 4 万 t、急速ろ過法浄水場 および配水池築造並に配水管布設	鹿児島市	鹿児島市 水道局	1962~1969	現在設計中
市内、中央、城南、中洲 上町汚水処理場は市内天 保山甲突川下流左岸	鹿児島市水道局下水 道課 鹿児島市塩屋町	9	排水管および排水渠汚水処理場施設 の築造	—	—	1952~1970	
鹿児島市、バス	—	832	鹿児島港に隣接する谷山臨海地域約90 万坪を 1 期 2 期にわけ埋立造成並に諸 施設をなし工業化を計る	鹿児島県	—	1961~1970	
川内駅、自動車	—	444	川内河口港の建設と相まって臨海工業 地帯約40万坪の埋立造成並に施設の整 備を計り工業化を促進する	—	—	1961~1965	
囃楽郡末吉町 末吉駅前	末吉町役場 囃楽郡末吉町	8	駅前高台(20 m)の基地を移転し切下げ をなし現在市街地と駅をむすぶ街路両側 凹地を埋立て市街地を造成すると共に既 成市街地の整備を区画整理事業で実施中	末吉町	末吉町直営	1958. 4 1962. 3. 31	
鹿児島市、バス 始良郡準人町浜之市	加治木耕地事務所 始良郡加治木町	32	準人町小浜海域の農地造成 69ヘクタール	鹿児島県	西松建設	1950~1965	
鹿児島県大口市管内、曾 木大口駅、バス	大口市役所建設課	1.2	風致公園展望台、滝下流の吊橋計画、 滝観望園路	大口市	県内業者	1961. 4. 1~ 1966. 3. 31	
鹿児島市より渡船大根占 着、バス 肝付郡大根占町大根占町	鹿屋耕地事務所 鹿屋市打馬町	11	用水路改修 川北 6 100 m 川南 2 400 m	鹿児島県	国基建設	1956~1962	
鹿児島市、バス 磯公園内	島津興業KK 鹿児島市業師町	4	島津別邸を含む磯公園内より海抜 151 m の高台地を結ぶロープウェイ建設に より錦江湾を望む	島津興業	東京索道	1959. 3~ 1959. 7	三綿高層式索道 高低差 133 m 斜延長 315 m
日置郡吹上町今田(南薩 鉄道 さつま湖駅前)	吹上公園事務所 日置郡吹上町今田	3.6	つじが丘より遊園地までさつま湖上約 20 m の高さ延長 534 m のロープウェイ その他バラ園、子供遊園地、湖上ボート	南薩鉄道	安全索道 雪村組 (停車場)	1955. 8~ 1956. 2	
鹿児島市内南港電停より 西に上る標高 80 m の台 地、市内那元町、鴨池町 宇宿町の一部	県市 鹿児島市住宅協会	約 45	農地 10 万坪を買収済内 75 000 坪宅地 造成を残り 25 000 坪は37年度水降実 施公営住宅 2 000 戸、公庫住宅 1 000 戸を協会、県、市共同で建設する	県市 住宅協会	鹿児島市内 の土木、建 築請負業者	1957~1963	